

2026年3月26日

## 休眠預金活用事業 2025 年度緊急枠

### 「物価高騰及びフードバンクへの食品寄附急減に対する緊急支援事業」 審査結果のご報告

一般社団法人全国フードバンク推進協議会は、一般財団日本民間公益活動連帯機（JANPIA）が実施する 2025 年度緊急枠において、資金分配団体として公募した「物価高騰及びフードバンクへの食品寄附急減に対する緊急支援事業」の実行団体の審査結果を、下記の通りご報告いたします。

## 記

### 1 応募状況について

公募期間：2025年11月20日から 2025年12月8日

説明会参加団体数：39 団体

応募総数：19 団体

### 2 審査委員会について

#### (1) 審査方法

外部審査委員会を設置し、各審査委員が書類審査を実施、各審査員からの書類審査の結果を集約し、審査委員会において採択団体を決定

#### (2) 審査委員会開催日

2026年1月19日

#### (3) 審査基準

ガバナンス・コンプライアンス	包括的支援プログラムに示す事業を公正かつ適確に遂行できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
事業の妥当性	事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われているか、また、解決したい社会課題に対して事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が妥当であるか
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か 毎月1回以上、資金分配団体に対して進捗報告をすることのできる体制を整えているか
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

### 3 審査結果について

外部審査委員会による審査の結果、7団体を助成対象として採択しました。

採択団体等の詳細は以下の通りです。

採択団体と助成額（順不同）

団体名	所在地	申請事業名（主）（副）	助成額	採択理由
特定非営利活動法人 フードバンクイコロさっぽろ	北海道	(主) 物価高に伴う生活苦と健康被害防止のための緊急支援事業 (副) 切りつめた生活による心身や成長への影響を最小限に	11,999,994 円 (内訳) 直接事業費：9,600,850 円 管理的経費：2,399,144 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他組織と連携を図りながら、札幌市内だけにとどまらず、北海道全域で困窮者支援に取り組んでおり、実績と信頼がある。</li> <li>・申請回数も重ねてきており、事業の計画は具体的であるものの、基盤整備においては課題がある。伴走支援を通じて、寄付拡大やファンドレイジング活動にも取り組み、さらなる基盤強化を期待したい。</li> </ul>
特定非営利活動法人 フードバンク仙台	宮城県	(主) 物価高騰下における持続可能な食料支援ネットワーク構築事業	12,000,000 円 (内訳) 直接事業費：11,949,000 円 管理的経費：51,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携や留学生支援に力を入れている点、寄付集めの実績なども高く評価できる。</li> <li>・一方で、人件費を主な助成対象経費とする点については、法人の恒常的な経費の確保を目的としていないか、など一定の懸念があるため、助成金を適切かつ効果的に活用し、寄付金を含めた資金全体の配分を工夫することで、事業の一層の充実と発展につなげることが望まれる。</li> <li>・今後も継続的なファンドレイジングに取り組むとともに、メディアとの連携強化にも一層注力されることを期待したい。</li> </ul>
NPO 法人 スマイルネットありがとう	群馬県	(主) 困窮する外国人労働者と家族に対する緊急食品支援事業	12,000,000 円 (内訳) 直接事業費：10,740,600 円 管理的経費：1,259,400 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人集住地域での食品支援活動に、当事者性を持って取り組んでおり、今後のニーズ拡大も見込まれる。モデルケースとなるような成果を期待したい。</li> <li>・一方で、2022年設立の法人ということもあり比較的活動歴が短く会計体制面には不安が残る。そのため月次精算の対応等は資金分配団体のサポートを受けながら、事業開始直後から体制を整備して欲しい。</li> </ul>

団体名	所在地	申請事業名（主）（副）	助成額	採択理由
特定非営利活動法人 フードバンク TAMA	東京都	(主) 物価高騰による困窮家庭の 急激な増大への食支援	11,953,000 円 (内訳) 直接事業費：11,953,000 円 管理的経費：0 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定 NPO 法人を取得しガバナンス・コンプライアンス体制の整備なども高く評価できる。また事業規模も大きく助成効果や相乗効果も期待できる。</li> <li>・活動エリアが東京都内という点で地方と比べ寄付者にも恵まれている状況の中、自団体の活動に加え、地域内の他団体の後方支援を担う中核的役割を果たすことを期待したい。</li> </ul>
認定 NPO 法人 フードバンク奈良	奈良県	(主) 子ども支援フードパントリー 一拡大事業	11,998,600 円 (内訳) 直接事業費：11,247,400 円 管理的経費：751,200 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の自治体との連携で培った実績を基盤に、県内での事業の拡大や、本事業における具体的な計画・堅実な目標設定などを総合的に高く評価できる。</li> <li>・一方で財政面を見ると、事業費に占める寄付金の割合が同規模の団体と比べて低くなっていることは、事業終了後の継続性の観点では大きな不安要素である。事業終了後を見据え寄付金増加に向けた積極的なファンドレイジング活動に期待したい。</li> </ul>
特定非営利活動法人 ふーどばんく OSAKA	大阪府	(主) 食支援を通じて孤立しない 仕組みを構築する事業	11,532,464 円 (内訳) 直接事業費：9,372,464 円 管理的経費：2,160,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西地域の中核的なフードバンク団体として実績もあり、活動内容も明確であるため事業の迅速開始と効果的な実施に期待ができる。</li> <li>・一方で、出口戦略に関しては寄付率の向上等、財政基盤の強化に期待したい。</li> </ul>
特定非営利活動法人 スカイラボサポートセンター	福岡県	(主)生活困窮家庭・ひとり親家庭 と子ども達への食支援、地域連携 プロジェクト	11,645,908 円 (内訳) 直接事業費：9,647,908 円 管理的経費：1,998,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭の割合が高い地域で培ってきた食支援の実績を基盤に、自治体・社会福祉協議会との連携を強化し、更なる支援拡大に努めている点が高く評価できる。</li> <li>・一方で、事業概要に示された取り組みが活動計画として十分に具体化されていない点があるため、実施内容を整理したうえで、計画に沿った着実な実施と、事業終了後を見据えた基盤整備に期待したい。</li> </ul>

助成総額：83,129,966 円

(助成額の算定根拠)

助成額は実行団体よりご提出いただいた事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。

以上